

#### ④ 全国のRC住宅の普及率はどのくらいですか？

全国的に見ると一戸建て住宅の大多数は木造です。2019（令和元）年度に新築された一戸建て全体に占める割合は約90%でした。一方RC造は1%にも届かない状況です。RC造が60%以上を占めるマンションなどの集合住宅は別ですが、RC造の一戸建て住宅はほとんど普及していないのが現状です。

着工新設住宅（令和元年度分）

区分	構造	戸数	比率
一戸建	木造	392,885	90.41%
	鉄骨造	38,023	8.75%
	鉄筋コンクリート造	2,611	0.60%
	鉄骨鉄筋コンクリート造	85	0.02%
	コンクリートブロック造	459	0.11%
	その他	520	0.12%
	計	434,583	100.00%

参考：国交省「建築着工統計調査」2019年度

ところが、沖縄では一戸建て住宅のうちRC造が約88%、木造が約8%、鉄骨造が約2%の割合となっています。全国平均と比較すると驚くべき数値です。

元々は沖縄でも木造住宅が多かったのですが、第二次世界大戦後の米軍占領下で、台風とシロアリ対策として普及したと言われています。沖縄地方を通過する台風は、本州へ上陸する時より勢力が強く、数も多いため、大きな被害が出そうですが、実際にはそれほど被害が発生していないことが、台風に強いことを証明しています。

沖縄県における構造別住宅戸数

区分	構造	戸数	比率
沖縄県 一戸建	木造	18,200	8.1%
	鉄骨造	5,200	2.3%
	鉄筋コンクリート造	196,700	87.9%
	その他	3,700	1.7%
	計	223,800	100.0%

参考：沖縄県企画部統計課 平成30年住宅・土地統計調査